

第 10 期資源調査分科会の検討課題（案）

第 10 期（～2021 年 2 月）においては、日本食品標準成分表の改訂を 2020 年内に実施することを目標として、関連する調査検討を推進する。

1 日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）（仮称）の検討方向

資源調査分科会の下に食品成分委員会を設置し、これまでに提起されている下記の主要な論点を踏まえた資源調査分科会報告の編集方針の作成と内容の検討を進める。

（1）収載食品の充実

- ・ 2015 年版（七訂）策定時の 2,191 食品に係る新規取得データに基づく見直しに加え、各年に追補又は検討を了した新規食品（2019 年度末までに約 200 食品を見込む）を新たに収載。

（2）成分の見直し

- ・ 2015 年版（七訂）策定以降において取扱いを変更した成分（ナイアシン当量及び低分子量の食物繊維等の成分の追加、アミノ酸成分値に係る補正係数の導入）を改訂版に反映させる。
- ・ 食物繊維の変更等に伴う炭水化物組成の取扱いについて検討し成案を得る。

（3）全般的な事項

- ・ 成分変化率、成分値に係るデータ来歴等の関係資料の充実、冊子版及びデータ版に関するユーザビリティの向上。

2 検討スケジュール

2019 年 4 月 第 10 期食品成分委員会設置

2019 年 5～9 月 食品成分委員会作業部会の開催

（2020 年版（八訂）編集方針の検討、個別成分値の検討）

2019 年 11 月 食品成分委員会の開催

2019 年 12 月 資源調査分科会の開催

（2020 年版（八訂）目次及び構成（案）の検討・公表）

2020 年 1 月～ 2020 年版（八訂）の編集開始

（ 2 月末：収載食品及び成分値の確定
4 月～：各説明資料の作成開始・調整
～12 月：報告・公表 ）